

2014年12月号

## 今月の主張

### 26年度健保組合全国大会を開催 皆保険の維持へ健保組合が決起 —医療保険の改革実現を総意で決議—

健保組合、健保連は11月26日、東京・有楽町の東京国際フォーラムで「平成26年度健康保険組合全国大会」を開催しました。副呼称には「皆保険を次世代へつなぐ改革実現総決起大会」を掲げ、健保組合、健保連が主張する医療保険制度改革の実現を願い、健保組合関係者ら約4000人が参集しました。

国民の健康を守り、維持するための基盤である国民皆保険制度は、すべての国民が公的な医療保険に加入し、その利益を享受できるすばらしい仕組みで、世界各国からも広く注目されています。しかし、高齢化の進展や医療の進歩により、国民医療費は毎年1兆円規模で増大しているなか、現在の仕組みのまま医療費を支えていくことは困難で、存続が危ぶまれる状況に陥っています。

とくに、高齢化により、国民医療費の約6割が高齢者医療で占め、支え手の現役世代の負担は極めて重くなっており、既に限界です。加えて、いわゆる団塊の世代が、2015年から全員が65歳に到達し前期高齢者となります。多くの方が定年年齢を迎えて制度を支える側から支えられる側に回るなど、世代間の負担のバランスが急激に変化し、現役世代の負担がさらに増加することが見込まれています。皆保険制度を維持するため、高齢者医療費の負担構造を見直し、現役世代の負担の軽減を図ることが急務なのです。

来年の通常国会では、社会保障制度改革の検討課題や政策スケジュールを定めた、いわゆるプログラム法にもとづき、健康保険法などの改正法案が提出され、審議されることとなっています。皆保険制度を将来にわたり維持していくため、来年の改革は非常に重要な意味を持っており、今年の大会は、改革内容の決定を目前に、まさに正念場を迎えるなかでの開催となりました。

大会では、健保組合、健保連の主張を2本のスローガン（表参照）に込め、大会に参加した健保組合関係者の総意をもって決議しました。

さらに、健保組合、健保連の主張を広くアピールし、改革の機運を盛り上げるため、従来にない工夫をこらしました。大会開催前と当日の意見広告の掲載や、ゴールデンタイムでの健保連のテレビCMの放映のほか、国会議員や行政関係者が多く利用する東京メトロの主要駅構内における大判ポスターの掲示は初めての試みです。

昨年の大会に続き、都内主要カ所で運行したアドトラックは、テレビCMに起用したキャラクター「笑わせえるすまん 喪黒福造」の効果もあいまって、多くの方が注目を集めました。

また、大会会場に隣接する広場では、生涯に支払う健康保険料と高齢者への支援額を試算するシミュレーターを用いたイベントを開催し、会場周辺や主要駅の街頭では、医療保険制度の問題に関心を持ってもらうとともに、健保組合、健保連の主張に理解を求めるビラを配布するなど、内外で活動を展開し、改革の実現に向け、新たな基点となりました。

健康保険組合全国大会スローガン（決議事項）

前期高齢者医療への公費投入の実現

高齢者医療費の負担構造改革と持続可能な制度の構築

2014年12月号

けんぽ単語帳

出産育児一時金

家族出産育児一時金

被保険者または被扶養者が出産をした際に支払われる給付金を『出産育児一時金』と  
いいます。

私たちは、原則ケガや病気で医療機関にかかった際は、健康保険証を医療機関に提示  
して窓口で医療費の一部（自己負担分）を支払います。その残りの医療費は、医療機関  
から保険者に請求され、保険者から直接医療機関に支払われます。

しかし、出産に関しては、別の方法で給付金が支給されます。（帝王切開術等、保険  
医療の対象になる場合もあります。）

出産育児一時金は、被保険者が妊娠4カ月（85日）以上で出産した際に支給されま  
す。一方、被扶養者が出産された場合は、『家族出産育児一時金』が支給されます。

支給額は、出産費用の全額が支払われるのではなく、法律で一児につき39万円（2  
015年1月1日の出産からは40万4千円）と定められています。

また、出産に関連して重度脳性麻痺を発症した場合に、補償金が支払われる「産科医  
療補償制度」に加入している医療機関で出産された場合は、制度への掛金として3万円  
（2015年1月1日の出産からは1万6千円）が出産育児一時金に加算され、合計  
42万円が支給されます。

出産育児一時金の支給を受ける方法は、次の3つです。

①直接支払制度

国民健康保険団体連合会などの機関を経由して、健保組合が直接医療機関等に出産費  
用を支払います。

②受取代理制度

被保険者等が、事前に申請して医療機関を受取代理人とし、健保組合が直接医療機関  
に出産費用を支払います。

③被保険者から請求

出産後、被保険者が健保組合へ申請し、健保組合から被保険者へ支払われます。

医療者の患者対応

【相談】

私（49歳・女性）は、1年ぐらい前から体調を崩しがちになり、生理がかなり不順になってきました。特に動悸やほてりの症状があるので、更年期なのではないかと思い、自宅近くの婦人科クリニックに3カ月前に受診しました。初診の日に内診やエコー検査、血液検査を受け、その結果で、月1回通院して、しばらく経過観察をすることになりました。

初診と2回目の診察のときには、受付で「自動血圧計で血圧を測って、出てきた結果の紙を診察のときに先生に渡してください」と言われたので、それに従いました。しかし、3度目の診察だった昨日は、何も言われなかったので、血圧を測らずに診察室に入りました。するとドクターからいきなり「血圧の紙は？」と言われたのです。私が「えっ!? 測っていません」と言うと、ドクターはいきなり立ちあがり、「毎回血圧は測ることになっているでしょ!! 帰りに受付に提出しておいて」と怒ったように言い、診察もないままに終わってしまいました。私はあまりの展開に驚いて、思わず「すみません」と謝って帰ってきてしまいました。もう二度とそのクリニックに行くつもりはありませんが、腹立たしい気持ちが納まりません。

【コメント】山口育子（COML）

最近では、ドクターをはじめとする医療者の患者対応は以前に比べて随分とていねいになってきたと思います。しかし、いまだにこのような相談が届いているのも現実です。

おそらく、この婦人科クリニックでは診察前に血圧測定を済ませ、結果を診察室に入ると同時にドクターに渡すというルールがあるのでしょう。しかし、この相談者は3回目の受診だったので、それがルール化されていることは知りませんでした。また、受付のスタッフも言い忘れたのか、もうルールを理解していると思ったのかわかりませんが、“ひとこと”の声かけが抜けた結果なのだと思います。

それにしても、いきなり怒り出されて診察もないというのはあんまりだと思います。できればクリニックに反省を促したいところですが、それを伝えるかどうかは患者さん次第です。残念ながら医療者の言動について“指導”する機関はないのが現状なのです。

2014年12月号

離れて暮らす親のケア [いつも心は寄り添って] vol.33

NPO 法人パオッコ ～離れて暮らす親のケアを考える会～ 理事長 太田差恵子

車の運転をやめさせたいが…

先日、ある行政で開かれた介護セミナーに講師として参加しました。終了間際、ひとりの男性から質問を受けました。「遠方で暮らす親に運転をやめてもらいたいのですが…」。同じ内容の質問をしばしば受けます。

交通の便が悪い地で暮らしていると、「車」は生活の足そのものです。とはいえ、「車」は凶器となる可能性があります。事故を起こした場合、運転する親のみならず、他人を巻き込んでしまう可能性も。実際、高齢者人口の増加とともに、高齢ドライバーによる事故は増加しており年間10万件以上となっています。やはり加齢に伴い、とっさの判断力の低下などは否めないといえます。

では、どう話せば親は運転することをやめるでしょう。それは人それぞれですが、まずは高齢者の運転事故が多い現状を話すことが必要だと思います。その上で、もし運転免許証を返納した場合、どういう不自由が生じるか一緒に考えることが大切です。買い物や通院に困るといっているのであれば、どう対処するか。コミュニティバスを走らせる自治体も増えています。自治体によっては、免許証の返納特典としてコミュニティバスの乗車運賃を減額したり、タクシー料金の割引をおこなったりするところも。重い商品の無料配送などを実施するところもあるようです。一方、運転免許証の返納とは関係なく、地域の高齢者のために移送サービスをおこなう自治体もあります。親の暮らす地域にどのようなサービスがあるか、地域包括支援センターや社会福祉協議会で情報収集してみましょう。

2014年12月号

温泉d e 健康に vol.33

温泉と宿のライター 野添ちかこ

### 第33湯 青荷温泉（青森県）

#### 五感を研ぎ澄ます旅へ

テレビはない。携帯も圏外。明かりはランプだけだから、夜は真っ暗。食事処では、「まるで闇鍋みたいだね」なんて声も聞かれるくらい、周囲は暗くて見えづらい。

煌々と明かりが灯る室内に慣れてしまっているから、この環境は異文化空間なのか、不便さを楽しむかのように、若い人が多く訪れていた。

薄暗い光のなか入る風呂はランプの宿ならではの趣き。2014年9月にリニューアルしたばかりの内湯は浴槽も床も壁も天井もすべて青森ヒバ。大きく息を吸い込めば、木の香りに全身が包まれて、ヒーリング効果も満点だ。

湯は無色透明の単純温泉。温度は40℃くらいだろうか。ぬるめなので、結構長く入ってられる。旅先でテレビを見ずにただひたすら湯に入る。静かに自分と向き合う贅沢な時間だ。

浴場は全部で4カ所。本館から吊り橋を渡っていった先にある露天風呂は昔ながらの混浴を守っている（女性専用時間あり）。

1室2名利用が基本の旅館にあって、この宿は一人宿泊も金額は変わらず1万950円（10～3月）。一人でも大人数でも楽しめる宿だ。

#### 温泉DATA

泉質：単純温泉

特徴：くせがないやさしい湯。神経痛、関節痛、冷え性に。

ランプの宿 青荷温泉 TEL:0172-54-8588

追ってけ！カルチャー vol.45

津田麻紀子

## 子供たちと楽しむデジタルアートの世界

東京大学発のベンチャー企業として2000年にスタートした「チームラボ」は、プログラマー、エンジニア、数学者、建築家、CGアニメーター、Webデザイナー、グラフィックデザイナー、編集者などから構成されているウルトラテクノロジスト集団。

この度、チームラボとして日本初の企画展となる『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』が、日本科学未来館（東京）で開催されることとなった。

展示されるのは、世界各地の美術展などで話題となった「デジタルアート」と、全国各地で子どもたちを楽しませている「学ぶ！未来の遊園地」の2つ。これまで発表してきたアート作品と遊園地が一度に体験できるまたとない機会だ。それぞれに新作を含む合計14点展示される。

「踊る！アート展」の展示作品は、近世日本の画家、伊藤若冲の作品「鳥獣花木図屏風」「樹花鳥獣図屏風」をモチーフとした高さ5m×幅20mの巨大なアニメーション作品「Nirvana」や、書家の紫舟とコラボしたインタラクティブアニメーションインスタレーション「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」など。「学ぶ！未来の遊園地」では、自分が描いた魚が泳ぎ出す「お絵かき水族館」や、叩くと色が変わったり音が鳴ったりする「光のボールでオーケストラ」などが展示される。

参加者は、圧倒的な美の空間となるアート展と、思いっきり手や体を動かすことのできる遊園地の全く異なる二つの会場を自由に行き来し、思い思いに作品と触れることができる。ファミリー層が親子で一緒に楽しむことができることも魅力のひとつだ。

チームラボ

踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地

2014年11月29日（土）～2015年3月1日（日）

日本科学未来館 [東京・お台場] 1階 企画展示ゾーンにて